

安佐医師会サーベイランス週報 第31週 平成30年7月30日(月)～平成30年8月5日(日)

地区	地 区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合 計	傾 向	コ メ ン ト
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	26定点		
	対 象 人 口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名	1定点	389,882名		
	定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名	1定点	389,882名		
1	RSウイルス感染症	16				1	1			1	19	↑	<p>【第31週安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>1. RSウイルス感染症: 4→19件・・・祇園16 流行</p> <p>2. 咽頭結膜熱: 10→5件</p> <p>3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 34→23件</p> <p>4. 感染性胃腸炎: 49→50件</p> <p>8. 手足口病: 34→19件</p> <p>10. ヘルパンギーナ: 25→24件</p> <p>11. 流行性耳下腺炎: 6→3件</p> <p>14. 流行性角結膜炎: 3→2件</p> <p>＜安佐地区 RSウイルス感染症の推移＞</p> <p>・例年より早い流行の始まり ・・・安佐定点当たり0.79</p> <p>・広島市(定点当1.63)をふくめ 全国的(0.97)に流行!</p> <p>＜3大夏風邪の推移＞</p> <p>・咽頭結膜熱: 減少</p> <p>・手足口病: やや減少するも流行中</p> <p>・ヘルパンギーナ: 流行中</p> <p>【豪雨災害地にて破傷風発生】 ・・・広島県CDCより</p> <p>・今年広島県で2件目、全国累計64件 (8月1日現在)</p> <p>「災害時注意すべき感染症」 災害に起因する感染症: 破傷風、レジオネラ、 レプトスピラ</p> <p>避難所で発生しうる感染症: 急性腸炎、 急性呼吸器感染症、(麻疹)</p>
2	咽 頭 結 膜 熱	3					1			1	5	↓	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13		2	1	1	6				23	↓	
4	感 染 性 胃 腸 炎	7	9	7		6	21				50	↑	
5	水 痘	1					1				2	↓	
6	手 足 口 病	11	4				4				19	↓	
7	伝 染 性 紅 斑												
8	突 発 性 発 し ん	2				1					3	→	
9	百 日 せ き												
10	ヘルパンギーナ	7	2		6	2	7				24	↓	
11	流行性耳下腺炎	3									3	↓	
12-A	インフルエンザ(A型)												
12-B	インフルエンザ(B型)												
13	急性出血性結膜炎												
14	流行性角結膜炎		1			1					2	↓	
15	麻 し ん												
16	風 し ん												
17	MCLS(川崎病)												
18	髄膜炎(細菌性)												
19	髄膜炎(無菌性)												
20	マイコプラズマ肺炎												
21	クラミジア肺炎												
22	そ の 他												
合 計		63	16	9	7	12	41			2	150		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言“**イットコール**” 安佐医師会 873-1840にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻しん、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報
保健センターへの届出用紙有り

【豪雨災害地にて破傷風発生】

・・・広島県CDCより
・今年広島県で2件目、全国累計64件
(8月1日現在)

「災害時注意すべき感染症」

災害に起因する感染症: 破傷風、レジオネラ、
レプトスピラ
避難所で発生しうる感染症: 急性腸炎、
急性呼吸器感染症、(麻疹)